

三 恵

第 8 号

平成 19 年12月 発行
三 恵 会 本 部 発行

祝 旭日双光章受章



この度、当法人の梅崎進評議員が旭日双光章の栄に浴されました。

秋の叙勲の栄誉を賜るといふ慶事であり、当法人にとりましても、大変おめでたい事があります。



三恵会中堅職員研修

本部 職員教育部門長 伴野かよ子

中堅リーダーのマネジメント能力の向上を目指して、この度中堅リーダーの役割と後輩指導の研修を(株)よんやくの協力のもと、実施いたしました。研修には7施設56名の職員が参加しました。

研修内容は、リーダーへの期待として

① マネジメント意識を持って

※コスト意識を持ち、経営がしっかりと行われないと事業として成り立たない、これはリーダーとしての役割である。

② プロを育てよ

※注意や指導は真摯に受けとめる、注意や指導は自分を良く見ているということである。

③ 組織の活性化を図れ

※組織の一員としての自覚を持つ



リーダー研修の目的は、自分を認める、知る、そして自分が変わるであります。

リーダーとして、人間関係を大切にするためには多くの会話が必要であることや、良いコミュニケーションによって指示、命令系統が生かされることも理解されたと思います。

職員から、自分自身の喚起に繋がった、心身ともに疲れているときの起爆剤として、よい機会であった。そして、他施設の職員との交流になり、また三恵会の歴史を知り、よかったとの意見がありました。これは愛社精神にも繋がると考えます。

研修が（勉強会）職員のマンネリや燃え尽きの予防になり、各年代に応じて実施することは、組織全体の志気に、そして職員のスキルアップに繋がればと良いと思っています。

研修開催日：平成19年10月29日・11月13日・11月6日・11月20日
出席人員：希望の館11名・三恵ホーム12名
・リハビリステーション三恵荘7名・ホテル三恵7名(1名欠席)・
コミュニティハウス三恵4名・やすらぎの郷15名(2名欠席)

各施設の主な行事

茶話会

リハビリステーション三恵荘

11月6・7日と各階で茶話会を実施しました。今回は魚釣り大会。先に磁石のついた釣り竿で必死に魚を釣りあげました。みなさんの表情は真剣そのもの！時には長靴や空き缶を釣ってしまったりしながら、楽しめました。



誕生会

20日には10月・11月生まれの人誕生会がありました。職員は小梅太夫になりきり、自前の振袖で歌って舞いました♪みなさん手をたたいて喜ばれました。



外出行事

ハートランド[®]三恵

『喫茶』(H19. 11. 21)

入所者の方とおしゃれなカフェに行ってきました。おいしいコーヒーとおいしいケーキ。コーヒー通の入所者の方も「最高！」と絶賛。みんなであわせなひとときを過ごしました。アン・レーヌ・カフェのみなさん

ありがとうございました。



防火訓練



11月15日(木)防火訓練を行いました!

日中に火災が発生した想定で、デイサービス、ショートステイのご利用者、入園者が避難。非常ベルの大きな音にびっくりしながらも、なんとか逃げ出せました。



ホッ

その後、園庭で消火活動の練習。練習の成果が発揮されることがないよう祈りつつ・・・

文化祭

やすらぎの郷

風の強い中ではありましたが、今年の文化祭も無事に終える事が出来ました。これは、ひとえにボランティアの方々や地域から参加していただいた方々のおかげだと思っています。

新居浜らしい文化祭という事で、太鼓の音で盛り上げ、フィナーレでは餅投げを行い、今年も例年通りの盛り上がりだったと思います。大勢の協力があり、職員一丸になっての成功だったと思います。

また来年、これ以上の文化祭になるよう今後も協力したいと思います。

本当に皆様、ありがとうございました。

実行委員長



K9交流会 三恵ホーム



11月10日(土)に「動物のふれあいレクリエーション」として「k9」さんにお越しいただき、可愛いワンちゃん達との交流の場を持たせていただきました。

なかなか動物と触れ合う機会の少ない利用者様が多い中、「本当は犬が大好き！」という方が、私たちの予想以上に多く、中には嬉し涙を流される方もおられるほどでした。そんな喜びの声をたくさん聞くことが出来て、職員も嬉しい限りの、心癒される一日となりました。



消防署訪問 十全保育園

11月21日(水)、勤労感謝の日になんで、幼児クラスの子も達が、消防署を訪問しました。

日頃、私達の街を守って下さっていることに対して、お礼を言い、手作りカレンダーと花を渡しました。消防署の方も喜んで下さいました。

その後は、はしご車のはしごを高く伸ばしてもらい、子ども達も大喜びでした。



挑戦

情報誌“三恵”ではいろいろな事にチャレンジしている職員を紹介しておりますが、今回はハートランド三恵の宮部さんのすばらしい体験記を三回に渡って紹介いたします。



ハートランド三恵
介護支援専門員
宮部 照美

「エベレストを見たくて」 第1話

ネパールヒマラヤのトレッキングを今まで4回体験して、まだ世界最高峰のエベレストを見ることが出来ずにいましたが今回は、念願のエベレストを見ることを目的に計画されたトレッキングでした。計画は、私達のオリジナルで直接ネパールのガイドに依頼して実施されました。10月24日出発、11月9日帰国の17日間の予定で、大韓航空のソウル経由便を利用することになりました。ソウルで一泊し、翌25日カトマンズの国際空港に到着、かねてより顔なじみのガイドのモティさんがにこやかに手を振って出迎えてくれました。まずはホテルで少し休憩してから市内見物と夕食を兼ねて出かけることになりました。私はネパールに5回来ているので町の風景はお馴染みですがやはりこの町でも少しずつ変わってきているこ

とを感じます。その一つに若い女性の服装が民族衣装であるサリーからジーンズなどに変ってきていることや、バイクがものすごく増えて狭い道路を無規則に走り交通渋滞の原因を作っていました。



さて、私達は夕食に町のレストランでチベット料理をいただき、明日からのトレッキングに備えました。トレッキングの出発地はルクラと言う所で、そこまでは国内線の飛行機で行きます。一番の便で行くことになり、6時30分のフライトの予定でホテルを出て国内線ターミナルへ行く。ところがフライト時間が来ても一向に案内がありません。原因はカトマンズ盆地の朝もやです。これはもやが晴れるまでは飛ばないなと思い諦めて待つしかありません。待合所は次々に集まってくるお客さんであふれそうです。ポカラに帰ると言うスンドリ(美人の意味)姉妹と話しが出来、夫がボラロイドカメラで写真を撮ってあげると、私達女性にティカ(額に付ける赤い印)のシールを貼ってくれるなどして、長時間の待ち時間を楽しむことができました。

結局5時間近く待たされ10時15分ようやく飛び立ちました。

飛行機は双発の小型機で16人乗りです。タイヤは磨り減って空気も抜けているようなオンボロ飛行機でしたが美人のシュワーデスさんが一人いて脱脂綿の耳栓と飴を配ってくれました。飛行機は約35分でルクラ空港に着陸、そこは雲上の楽園のように美しく全員感動の声をあげる。

ルクラでは、私たちをサポートしてくれる現地スタッフが待ち兼ねていたようで、早速顔合わせをして今日からのトレッキングの仲間となりました。

構成は、私達トレッカー11人に対して、行動を共にするシェルパが4人、食事の全てを賄うキッチンスタッフが8名、ポーター2名、ゾッキョと呼ばれるヤクと牛の混血種の牛六頭と牧童(ゾッキョ・ドライバーと呼んでいた)1名です。これらを全て統率するリーダーは、特にサーダーと呼ばれている。今回のサーダーは長野県の山小屋で数回働いた経験があるといい、日本語はペラペラです。私は、ネパール語はもちろん英語もチンプンカンプンなので日本語の話せるサーダーに親近感を持つことができました。キッチンスタッフが用意してくれた昼食を食べてから、いよいよトレッキングに出発です。

第2話、第3話は感動と苦難の道をお伝えする予定です
お楽しみに…

第一話 おわり



主な行事予定

12月 6日	餅つき大会	場所	三恵ホーム
7日	神 事	場所	リハビリステーション三恵荘 ハートランド 三恵
10日	グレース幼稚園園児訪問	場所	ハートランド 三恵
15日	平成19年度 第2回理事・評議員会 三恵会役員会		
18日	クリスマス忘年会	場所	希望の館
20日	クリスマス会	場所	三恵ホーム
20日	もちつき	場所	リハビリステーション三恵荘
25日	クリスマス会	場所	十全保育園 リハビリステーション三恵荘
27日	お餅つき	場所	十全保育園
28日	仕事納め・大掃除	場所	三恵ホーム
	仕事納め式	場所	やすらぎの郷
	仕事納め	場所	希望の館

